

いしきの まき

No. 25 9月定例会 議会だより

平成22年11月12日発行

平成22年度

| | |
|------------------------|----|
| 平成21年度一般会計等の決算を認定… | 2 |
| 各常任委員会審査報告…………… | 4 |
| 26人が一般質問で市政を問う …… | 6 |
| 追跡レポート…………… | 13 |
| 議員定数等調査検討特別委員会を設置…………… | 15 |

STOP！いじめ石巻市子どもサミット2010での様子
(石巻市議会議場にて)



3年ぶり 条例や補正予算など17件原案可決 一般会計決算を認定



▲ 決算審査の様子



平成22年第3回定例会は、9月2日から9月22日までの21日間の日程で開催されました。

今期定例会では、平成21年度一般会計など各種会計決算認定2件、条例や補正予算などの市長提出議案15件、議会提出議案1件、委員会提出議案1件の計19件の議案が審議され、いずれも原案のとおり認定及び可決されました。

なお、平成21年度一般会計決算については、3年ぶりの認定となりました。(※) また、平成22年度石巻市一般会計補正予算(第3号)については、反対討論がありました。起立採決の結果、原案のとおり可決されました。

(議案の詳細は12ページに記載しております。)

※過去2年連続一般会計決算が不認定

- 平成19年度一般会計決算
青果花き地方卸売市場移転問題、場外舟券売場オラレ等の問題により
- 平成20年度一般会計決算
タクシー券の私的使用問題、雄勝保育所建設予定地の産廃埋設問題により

第3回定例会で議決した議案の中から

可決された条例の中から

◆石巻市立こども園条例

幼稚園と保育園とが相互に連携し、就学前の子どもに対する教育・保育を一体的に実施するとともに、地域の子育て家庭を支援する「こども園」を運営するもの。 <平成23年4月1日から施行>

| こども園の名称 | 位置 | こども園を構成する施設 |
|-----------|-------------|----------------------|
| 石巻市立湊こども園 | 石巻市湊一丁目1番9号 | 石巻市立湊幼稚園 石巻市立湊保育所 |

◆石巻市総合体育館条例

市の直営により管理運営を行ってきたが、サービスの向上と施設の効率的かつ効果的な管理運営を図るため指定管理者制度を導入することとしたもの。 <平成23年4月1日から施行>

その他の議案の中から

◆定住自立圏形成協定の締結について（東松島市、女川町）

本市と東松島市及び女川町が相互に役割を分担し、定住に必要な都市機能や生活機能の確保及びその充実を図るとともに、自立に必要な経済基盤の整備を促進することにより、魅力あふれる定住自立圏を形成することを目的に「定住自立圏形成に関する協定書」の締結をするため議会の議決を得たもの。

可決された補正予算のおもな中身は

◆総務費では

- ・定住自立圏共生ビジョン策定に係る懇談会に要する経費
- ・地域自治システムの構築に要する経費
(アドバイザー報酬、住民自治組織設立支援事業費補助金)

◆民生費では

- ・湊こども園の開設に伴う手洗い場等の修繕に要する経費

◆衛生費では

- ・インフルエンザワクチン接種費用軽減助成金

◆労働費では

- ・観光PRキャラクター（いしぴょんず）活用事業委託料

◆農林水産業費では

- ・農作物有害鳥獣駆除業務委託料（ニホンジカ駆除）

◆商工費では

- ・地域総合整備資金貸付金（特別養護老人ホーム「仁風園」40床増築）

◆消防費では

- ・全国消防操法大会の出場（雄勝消防団）に要する経費

◆教育費では

- ・旧寄磯中学校解体工事に要する経費
- ・齋藤氏庭園の公有化に要する経費

起立採決のあった議案に対する各議員の賛否

| 議席番号 | 氏名 | 平成22年度 石巻市一般会計 補正予算(第3号) |
|------|--------|--------------------------------|
| 1 | 阿部 久一 | ○ |
| 2 | 遠藤 宏昭 | ○ |
| 3 | 阿部 純孝 | ○ |
| 4 | 黒須 光男 | × |
| 5 | 黒澤 和雄 | — |
| 6 | 高橋 左文 | ○ |
| 7 | 山口 莊一郎 | ○ |
| 8 | 大森 秀一 | ○ |
| 9 | 阿部 和芳 | ○ |
| 10 | 水澤 富士江 | ○ |
| 11 | 阿部 欽一郎 | ○ |
| 12 | 安倍 太郎 | ○ |
| 13 | 丹野 清 | ○ |
| 14 | 千田 直人 | ○ |
| 15 | 櫻田 誠子 | ○ |
| 16 | 渡辺 拓朗 | ○ |
| 17 | 千葉 眞良 | ○ |
| 18 | 阿部 正敏 | ○ |
| 19 | 青山 久栄 | ○ |
| 20 | 高橋 栄一 | ○ |
| 21 | 西條 正昭 | ○ |
| 22 | 庄司 慈明 | ○ |
| 23 | 石森 市雄 | ○ |
| 24 | 松川 恵一 | ○ |
| 25 | 森山 行輝 | ○ |
| 26 | 長倉 利一 | ○ |
| 27 | 伊藤 啓二 | ○ |
| 28 | 堀川 禎則 | ○ |
| 29 | 高橋 健治 | ○ |
| 30 | 阿部 政昭 | ○ |
| 31 | 後藤 兼位 | ○ |
| 32 | 高橋 誠志 | ○ |
| 33 | 阿部 仁州 | ○ |
| 34 | 三浦 一敏 | ○ |
| 賛成 | | 32 |
| 反対 | | 1 |
| 棄権 | | — |
| 欠席 | | — |

※○：賛成、×：反対、△：棄権
※黒澤和雄議員は議長であるため採決には加わりません。



9月3日の本会議で、決算や条例、補正予算などの議案が審議され、総務企画、環境教育、保健福祉、産業建設の各常任委員会に付託されました。各常任委員会で審査されたことの中から、いくつかの質疑と答弁の要旨を紹介します。

各常任委員会審査

総務企画委員会

今後の歳入確保について

Q 税収確保対策は。

A 休日・夜間の徴収、相談窓口の開設、滞納整理システムの運用、電話催告センターの活用、県の滞納整理機構との連携等で当面は対応し、今後は、県との一層の連携やコンビニ収納についても確実に検討を進めて行く。

Q 市全体の歳入確保に向けては。

A 地方交付税増額のためには、人口を増やすことが大切であるが、そのためには地域に働く場所をつくるが大前提であり、特に地元企業の育成や企業誘致及び地場産業の育成等が歳入増加のための重要なポイントとなる。

環境教育委員会

いじめ・生徒指導対策について

Q いじめ対策については。

A いじめの件数は減少傾向にあるが、その根絶に向け「ストップいじめ石巻市子どもサミット」を開催、市内23中学校から代表2名が参加し、宣誓文を作成するなどした。今後も小中高一体となっていじめ根絶に向けた取り組みを検討していく。



▲ストップいじめ石巻市子どもサミットでの様子

保健福祉委員会

雄勝保育所建設用地について



▲雄勝保育所建設地より掘りだされたコンクリート破片

Q コンクリート破片が確認されたことによる今後の対応は。

A 雄勝保育所建設用地から試験掘削等により、転石にまじってコンクリート破片が確認された。今後の対応については、園庭部分は園児たちが土に触れる機会が多くあることから、園児の安全確保や保護者及び地域の方々の不安解消のためにも、重機により全面掘削を行い、埋設物の確認と除去を実施する方向で、検討していきたい。

産業建設委員会

生活排水処理施設の整備と接続率の向上について

Q 地域の需要に対応した整備と接続率向上に向けた施策は。

A 今後は、接続需要の多い地域から整備するなど、費用対効果等も考慮に入れて整備地域を拡大していきたい。
下水道使用可能世帯のうち接続している割合は72%となっており、供用開始1年目及び接続にかかる融資あつせん期限の3年目に戸別訪問を行い、接続を促している。
接続工事にかかる資金面の支援策としては、下水道の供用開始後3年を申請期限とした排水設備等工事資金融資あつせん制度がある。

平成21年度において融資あつせん制度を利用した件数は、融資対象となる排水設備の申請件数約1000件に対して、73件、率にして7%となっており、今後は、融資申請期限の延長や新しい施策についても検討していきたい。

各常任委員会行政視察報告会の開催について

次回12月定例会において、各常任委員会が実施した行政視察の報告会を開催いたします。大勢の皆様のお聴きをお待ちしております。
なお、日時等の詳細については、議会事務局へお問い合わせください。
※詳細が決定後、議会ホームページにも掲載いたします。

各常任委員会の条例・補正予算審査

総務企画委員会

石巻市特別会計条例の一部を改正する条例について

Q おしかホエールランドを指定管理者に移行した場合の現職員の取扱いは。

A その後の施設管理は、指定管理者側が行い、指定管理導入後は、その年の定期人事異動における対応となる。非常勤及び臨時職員の身分の取り扱いは、これまでの経緯等も十分に配慮した中で、今後対応していきたい。

環境教育委員会

齋藤氏庭園の公有化について

Q 建物の修復に係る費用や公開までの期間は。

A 平成23年度に文化庁の指導の下、修復計画を策定することとしており、その中で復元にかかる費用や公開期間を検討する。
また、公有化後の維持管理は指定管理者制度の導入や地域文化団体によるボランティアの活用など、当施設を効果的に活用するための管理手法について、今後予定している保存活用計画策定の中で検討したい。



▲指定管理者へ移行予定のおしかホエールランド



▲公有化される齋藤氏庭園

保健福祉委員会

認定こども園について

Q 湊保育所・湊幼稚園の現在数及び認定こども園のイメージは。

A 平成21年度の実績では、湊保育所が定員80名に対して77名、湊幼稚園が定員65名に対して23名で3分の1の入園率となっている。

認定こども園のイメージについては、1歳から3歳の子どもは、今までどおりの保育サービス、4、5歳の子どもについては、これまで別々だったものを一緒にして、幼児教育を実施し、空いた部屋については、子育て支援事業や一時保育事業及び子育て相談事業などの導入を考えている。

今後の認定こども園の施設整備計画については、湊認定こども園の状況を見ながら検討していきたい。



▲平成23年4月に認定こども園へ移行となる湊保育所と湊幼稚園

産業建設委員会

観光キャラクターの活用について

Q 観光PRキャラクター「いしびよんず」の活用方法は。

A 観光PRキャラクター活用事業委託料は、本市の観光PRキャラクター「いしびよんず」の運用について、株式会社街づくりまんぼうに委託し、本年10月1日から来年3月31日まで、常時3名を雇用するものであり、人件費、出張旅費及び修繕等の経費が含まれている。
来年度についても、ふるさと雇用再生特別基金事業を活用し、継続して運用していきたいと考えている。

今後の活用方法としては、石巻専修大学の講義の聴講、仙石線等に乗車しての観光PR活動、マンガロードを散策したり、ほんのりしたムードを醸し出して観光客をおもてなしする等の構想を考えている。

市民の間でも「いしびよんず」の歌を歌ってくれる等の活動が始まっており、市民と一緒に盛り返していきたい。



▲いしのみまき観光PRキャラクター「いしびよんず」

一般質問

議員26人が登壇 市政を問う!

第2回定例会の一般質問は、9月15日、16日、17日、21日、及び22日の5日間行われました。今回は26人の議員が登壇し、市政全般にわたり市当局の見解をいただきました。

その中から、いくつかの質問と答弁の要旨を紹介します。

また、一般質問の詳細については、『石巻市議会ホームページ』で録画映像にてご覧いただけます。



石巻市議会ホームページにて 録画配信しています

「石巻茶色い焼きそば」について

問 認知度を高め、まちおこしに繋がりたい

答 石巻焼きそばによるまちおこしについて、どのように考えているのか。また、今後の取り組みは。

問 全国各地において、食材やグルメによるまちおこしが盛んに行われており、地域で愛される安くてうまい「B級ご当地グルメ」を活用したまちおこしへの取り組みは、成功した事例で年間数十億円の経済効果を生み出すとも言われ、地域を元気にする活動として注目されている。

「茶色い焼きそばの街」として、本市の観光産業に大きな経済効果が生まれるようPRし、全国に広めるとともに、認知度を高めながら、まちおこしに繋げていきたい。



▲ 中瀬公園で開催された東北4大焼きそばフェスティバル

問 齋藤氏庭園公有化の理由は

答 国の指定名勝として適切に保存、継承する

問 齋藤氏庭園の公有化を決断した理由は。

答 文化財は、一度失われてしまえば二度と取り戻すことのできないものであり、特に国指定文化財は、文化財の中でも我が国の歴史の証人として特に貴重なものである。

本市としては、この齋藤氏庭園を、国の指定名勝にふさわしい適切な状況で保存し、次代に継承していくことが地元自治体としての責務であり、また、災害で被害を受けた建物を修復、修繕し、名勝指定を受けた庭園にふさわしい姿に一日も早く復旧することが必要と考え、公有化するものである。



▲ 公有化される国の指定名勝「齋藤氏庭園」

議場コンサートを 開催しました

第3回定例会の本会議初日にあたる9月2日、議場を開放して恒例となった議場コンサートを開催しました。

今回は、粋でいなせなコンサートと銘打ち、石巻道場 蛇田・谷地集会所の皆さんによる 梅后流 江戸芸かつぽれ(師範 櫻川后萌)が披露されました。「伊勢音頭」「深川」「奴さん」「かつぽれ」の4つの演目が披露され、来場された多くの観客に、感動を与えていただきました。

議会では、今後も議場コンサートを開催する予定ですので、市民の皆さんの御来場をお待ちしています。



問 蛇田地区の下水道整備計画は

答 人口が集中している市街地を優先に整備

問 蛇田地区の今後の整備計画と市における優先順位は。

答 蛇田中央土地区画整理事業区域南側から中ノ堀排水路までの事業認可区域については、平成20年度から着手し平成25年度の完了を目標に整備を進めている。

全市における蛇田地区の優先順位については、総合支所管内の整備水準と均衡を図りながら、人口が集中している市街地を優先に整備を進めたい。

問 スマートコミュニティ（環境配慮型都市）へ

答 取り組みを研究していく

問 スマートコミュニティづくりに対する取り組みは。

答 経済産業省を中心に多くの民間企業が参加して「スマートコミュニティ」に関する議論・研究がなされており、その成果等を参考に、本市としての取り組みについて研究していきたい。

※スマートコミュニティとは？

環境への配慮と快適な生活を両立するため、多岐にわたる最新技術を組み合わせたシステムとしての社会資本を意味するもの。

問 県地方税滞納整理機構について

答 収納率向上に向けた人材育成にも期待

問 宮城県と25市町村共同開設の県地方税滞納整理機構への滞納事案移管の詳細と費用対効果は。

答 本年度については、114件、2億3,317万円を移管している。

県滞納整理機構の徴収活動は県職員6名と市町村職員15名、計21名の合同チームを構成して行われており、本市から職員2名を派遣している。

その費用対効果については、本市の滞納額の縮減とともに、市単独では従来取り組めなかった高額悪質滞納者に対する捜索等による差押の実務に携わることにより、市の収納率向上に向けた人材育成に大いに役立つものと期待している。

問 電子黒板導入後の活用と効果は

答 効果的な指導を工夫、検証を進めていく

問 「電子黒板」を導入後、その活用や成果は。

答 文部科学省の「電子黒板を活用した教育に関する調査研究事業」により、本年2月に渡波小学校に16台の電子黒板を導入している。7月の調査では、全ての学級で活用されており、効果としては、「学習に必要な資料や情報を即座に共有できる」「漢字の書き順や立体図形が展開する様子を動画で見て、学習内容を視覚的にとらえられる」などがあげられる。

また、教員にとっては、画面に触れるだけの操作で効果的な指導を工夫することができる一方、操作にはある程度の慣れが必要であり、引き続き電子黒板の活用の成果と課題について検証を進めていきたい。



◀電子黒板を使っ
ての授業風景
(渡波小学校)

問 安心・安全ブランド化推進への取り組みは

答 関係機関と協力し、知名度向上に努めたい

問 農業は石巻市にとって重要な産業であり、ブランド化を強力に進めるべきと考えるが、その取り組みは。

答 本市は、「ひとめぼれ」や「ササニシキ」などの稲作、トマト、いちご、きゅうりなどは県内で上位を占める生産量を誇っている。こうした農産物において、「石巻産なら絶対に安全で安心である」というブランドイメージを確立するためには、環境保全米の生産推進、農薬や化学肥料の使用を低減した栽培に取り組むエコファーマーの認証登録の推進など、有機農業などのこだわりの栽培が重要である。そのためには農産物の安定供給体制が必要であることから、関係機関・団体との連携を図りながら、「石巻ブランド」の知名度向上に努めていきたい。



問 放課後児童クラブの事業拡充を

答 公共施設等を活用し待機児童解消へ

問 放課後児童クラブの現在の状況と待機児童解消へ向けた事業拡充への考えは。

答 放課後児童クラブは、市内に28クラブを開設しており、現在、891名の児童が入級している。

拡充策として、受入人数の見直し、開設時間の延長や長期休業期間の開設時間繰上げ、学年末、学年始めの実施とともに、本年4月には、稲井地区及び牡鹿地区放課後児童クラブを開設、また、蛇田地区に専用室を新設するなどの推進をしてきたが、9月1日現在の待機児童は、27名となっている。

保護者の安心を確保し、働く女性をサポートする放課後児童クラブの役割は極めて重要であり、待機



児童が発生しているクラブについては、今後も余裕教室や地域の公共施設等の活用等を進めていく。

◀新設された蛇田地区放課後児童クラブ室内

問 姉妹・友好都市との交流推進は

答 様々な分野での交流を推進していく

問 姉妹都市、友好都市との今後の交流推進のあり方は。

答

山形県河北町や茨城県ひたちなか市における国内交流については、本市の歴史や文化、地域資源を活かした地域間交流を中心に推進していきたい。

また、中華人民共和国浙江省温州市やイタリア共和国チビタベッキア市などの国際交流については、新たな時代を創造する人材を育成するため、文化、教育、スポーツなどの交流を推進していくとともに、本市の産業を活かした経済交流など様々な分野での交流を推進していきたいと考えている。



問 中心市街地活性化基本計画認定後の進捗状況は

答 国の補助金を活用しながら整備する

問 中心市街地活性化計画が今年3月に国の認定を受けたが、その後の計画はどの程度進展しているのか。

答 昨年度は、新庁舎建設をはじめとして、マンガロード再生事業や空き店舗を活用した石巻専修大学生によるチャレンジショップ「ほーぷす」、高齢者の交流の場を備えた「なごみ庵」等を、街づくりまんぼうを中心に、国の補助金を活用しながら整備してきたところである。

今年度においても、川を活かしたまちづくりとして旧丸光の撤去や民間による高齢者向け優良賃貸住宅の整備、中瀬における民間開発が進められている。

今度は、市の事業として駅周辺や日和山の整備、食彩通りの道路整備、民間事業として空き店舗を活用したまちなか賑わい交流拠点施設の整備等を実施する予定である。



解体された旧丸光▶

問 石巻圏内の医療連携について

答 2市1町で十分な協議を行う

問 定住自立圏形成における連携項目の一つである「地域医療」について、圏内の医療機関との連携にあたっての具体的な項目の設定に関する協議方法は。

答

「定住自立圏形成に関する協定書」に盛り込まれている「地域医療連携体制の充実」のビジョンを具体化するためには、まず、2市1町が石巻医療圏の医療連携の目指すべき方向やそれを実現するための方策について、十分な協議を行うことから始めたい。石巻医療圏の地域医療の推進を目的として設置されている石巻地区地域医療対策委員会へその協議結果を提案し、医療連携を強化するための方向性や具体的な方策を見出していきたい。



▶定住自立圏形成協定合同調印式

問 引き続き太陽光発電の普及、促進をすべき
適宜見直しながら進めていく

答 太陽のまちを標榜し、太陽光発電の普及に力を入れているが、引き続き促進すべきと考えるが。

問 本市では、昨年10月から、市民・事業者を対象とした太陽光発電設備設置に対する補助金の交付制度を創設し、昨年度は、個人住宅141件、事業所2件、合計143件に対し補助金を交付した。

答 また、公共施設への太陽光発電設備の設置については、現在、本庁舎、河北総合センターなど総合支所管内の施設6か所に設置を進めている。

国・県による補助制度の動向等を見つつ、適宜、見直ししながら、公共施設への設置について、施設の内容等に合わせ進めていきたい。



▲本庁舎屋上に設置された太陽光発電パネル

問 重要港湾石巻港の今後は

答 仙台塩釜港との一体化を進めたい

問 石巻港が重点港湾の指定からもれたことで、立地企業の将来性、企業の成長戦略に大きな影響を及ぼすと思うが見解は。

答 重点港湾の選定外となったことで、新規直轄事業ができなくなったことは、企業誘致や現在操業している企業の将来性等に大きな影響を与えていると考えている。そのため、新規直轄整備を可能とする仙台塩釜港との一体化を現在進めているところであり、是非これを実現しなければならぬと考えている。



▲石巻港の今後は？

問 国民健康保険税の軽減を

答 現時点での引き下げは難しい

問 国民健康保険税の軽減への考えは。

答 第2回定例会で可決された国保税の税率改正は、現行の旧石巻市の税率を上回らないことを基本とし、中間所得者、高齢者等に配慮したうえで、平成24年度末時点において、国民健康保険財政調整基金の残高が、国の基準である一般給付費等の5パーセント以上を確保することを基本方針としたものである。これは、今後3年間の本市国保の適正税率であると考えており、現時点では、これ以上の保険税の引下げは難しいものと考えている。

問 認知症サポーターの養成について

答 来年度まで3,000人を養成

問 認知症の患者と家族を支える地域づくりを目指すことは重要と考えるが、石巻市で認知症サポーターに認定された方は。

答 認知症サポーター養成講座は、これまでに延べ65回を開催し、認知症サポーターは延べ2,391人となっている。この人数は、来年度まで3,000人を養成すると定めている本市の地域福祉計画の目標に対し79.7%の達成率となっている。

※認知症サポーターとは？

認知症を正しく理解し、患者や家族をあたたく見守る応援者として日常生活の中で支援をする者。

問 ベンチャー企業の誘致策について

答 独自の融資制度について研究していく

問 市内金融団の協力を得ながら、信用保証協会を活用した独自の融資制度を創設し、全国にインターネットなどで発信して、やる気のある有能な人材・企業を募集しては。

答 提案の融資制度については、ベンチャー企業の誘致に対してインセンティブとしての効果があると認識しているが、既存の制度を勘案しながら、信用保証協会並びに市内金融機関と意見交換を行い、創業者向けの融資制度について研究していきたい。

問 生活保護世帯に対する就労支援を

答 就労に結びつく支援を進める

問 生活保護世帯に対し自立支援の範囲を広げ、就労支援に結びつけていくことが重要と考えるが。

答 稼働年齢層である15歳以上65歳未満の被保護者で、傷病等の就労阻害要因のない方に対して、就労相談、就労支援として、ハローワークの求人情報をもとにした福祉事務所での相談、ハローワーク同行による求職情報のパソコン検索指導、求人票の閲覧指導、ハローワーク担当者への紹介・相談、履歴書の書き方、面接時の対応などのサポートを行っている。今後もハローワークと連携を図りながら支援対象者の就労意欲を喚起し、就労に結びつくよう支援を進めていきたい。

問 特別支援教育支援員の配置は

答 今後も増員していく計画

問 小中学校における、特別支援教育支援員について現在の配置人数と現状は。

答 今年度は、市内小学校20校に20名の支援員を配置している。配置にあたっては、特別支援教育に係る調査から支援を必要とする児童を抽出し、児童の実態や学校の支援体制等から必要度を判定して決定した。

現在、通常学級に在籍する発達障害等と思われる児童生徒は、小学校31校に119名、中学校15校に78名が在籍していると報告されている。

支援員については今後も順次、増員していく計画である。

問 おもてなし対応への人材育成を

答 「おもてなしセミナー」などの研修会を開催

問 おもてなし対応への人材育成の考えは。

答 自然景観や食などを観光素材として全国へPRし、誘客を図っているが、観光客に石巻の魅力を感じていただくためには、なお一層の受入態勢の整備と「おもてなしの心」が必要不可欠である。

「まごごろ」のある対応と地域の人々との「ふれあい」が、その観光地の印象を決定付ける大きな要因になると考えており、観光関係機関との連携強化を図り、市民を対象とした「おもてなしセミナー」などの研修会や講習会の開催等について取り組んでいきたい。

問 石巻専修大学との学官連携について

答 経営学部との連携も強化していく

問 石巻専修大学との連携のほとんどは理工学部との連携であり、今後は経営学部との連携を強化すべきと思うが。

答 まちづくりや行政運営には経営学など社会科学系の視点も必要で、理工学部との連携のみならず、経営学部との連携、協力もいただきながら市政運営を行ってきたい。

本年2月に市と大学により発足した、地域連携推進協力会議などを通じて、大学側と意見の交換を行い、より緊密なパートナーシップの確立に努めていきたい。



▲石巻専修大学

問 市民会館の耐震調査状況は

答 最終結果は来年3月に出される

問 市民会館の耐震調査状況及び今後の見通しは。

答 市民会館耐震調査の委託契約は、6月中旬に締結しており、工期は来年3月の中旬までで、現在、耐震強度試験のデータを整理し、10月よりデータを分析し、耐震診断を行う予定となっている。

ホール棟については、補強方法の提案や概算の補強費用等の算出のほか、各種調査結果による総合評価を行うこととしており、最終結果は、来年3月中旬に出される予定である。

その耐震調査の結果を待って、今後の対応を見極めたい。



▲石巻市民会館

問 A T L原因ウイルス抗体検査について

答 国・県の動向を見ながら公費での実施を

問 A T L原因ウイルス抗体検査は現在、妊婦健診の項目に含まれていないが、今後、健診項目に含まれるよう、公費助成を願うが考えは。

答 成人T細胞白血病予防のためのA T L原因ウイルス抗体検査は、妊婦健診を行っている医療機関で2,000円程度の自己負担で受けることができる。

9月8日に菅首相が来年度から妊婦を対象にA T L原因ウイルス抗体検査を実施したいという考えを表明しており、本市としても大いに期待するところであり、今後は国・県の動向を見極めながら、この検査実施に向けて前向きに対応していきたい。

※A T L（成人T細胞白血病）とは？

HTLV-1というウイルスに感染することにより発症する白血病で、主な感染経路は、現在、授乳による母子感染と言われている。感染から40～60年の潜伏期間を経て5%前後の方が発症する難治性の疾患。

問 都市対抗野球全国大会出場の効果について

答 石巻を全国にPR出来た

問 日本製紙野球部の都市対抗野球全国大会出場に伴う地元への経済波及効果は。

答 今回、地元企業が石巻市代表として「都市対抗野球全国大会」に出場したことに伴う地元経済への波及効果については、1,300人もの応援団が、市内の旅行代理店を通じて参加し、また、当日配布された応援グッズや記念品も地元関係会社に発注されるなど、大きな経済効果があったものと考えている。

また、応援コンクールにおいて、はねこ踊りなどの郷土色を盛り込んだ応援が敢闘賞を受賞するなど、テレビや新聞紙上で取り上げられ、全国に広く石巻をPR出来たと確信している。



▲応援コンクールで敢闘賞を受賞した石巻応援団「はねこ踊り」

問 ねりんピックの開催について

答 準備が整い次第、実行委員会を立ち上げる

問 平成24年10月、ねりんピックが宮城県で開催され、石巻市はサッカーと剣道競技が実施される。交流人口増大のチャンスであるが、受け入れ組織体制は。

答 大会は競技のみならず、あらゆる世代の人たちが楽しめるための取り組みが必要であり、剣道、サッカー両種目団体はもとより、文化協会、社会福祉協議会、商工会議所、医師会、消防、警察のほか地元の中学校、高等学校やボランティア団体など幅広く協力をいただき、参画をお願いしたいと考えている。

市の実行委員会は、県の開催準備スケジュールに沿って、準備が整い次第立ち上げたい。

問 都市計画税の用途とその公表について

答 用途状況を周知していきたい

問 本市では、特別会計を設置していないが、都市計画税の経理について、議会に対しても、また、住民に対しても周知すべきと思うが。

答 都市計画税は、目的税として課されており、主に街路整備事業や下水道整備事業及び都市計画事業のために借り入れた地方債の償還に充てており、予算編成や執行にあたっては、予算書や決算書等にその用途を明示していないのが実状である。

今後、都市計画税が目的税でもあることから、予算や決算の説明時に、議会や市民へ用途状況について周知をしていきたい。

問 石巻産水産物の消費拡大を図るイベントを

答 イベント内容の充実を図る

問 「石巻産水産物」の高付加価値化、消費拡大を図るためのイベントの充実・強化についてどのように考えているのか。

答 石巻市の水産イベントは、代表的な「いしのみき大漁まつり」を始め、エスパル仙台のアンテナショップ開設や世界ほやエキスポなど、新たな取り組みにも力を入れており、引き続き、石巻水産物のPRの強化につなげるべく、関係機関と一緒に知恵を絞りながら、イベント内容の充実に向けていきたい。

第3回定例会に提出された議案と審議結果

予算関係

(原案可決)

平成22年度石巻市一般会計補正予算(第3号)
平成22年度石巻市下水道事業特別会計補正予算(第2号)
平成22年度石巻市浄化槽整備事業特別会計補正予算(第1号)
平成22年度石巻市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)
平成22年度石巻市老人保健医療特別会計補正予算(第1号)
平成22年度石巻市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)

その他

(原案可決)

定住自立圏形成協定の締結について(東松島市)
定住自立圏形成協定の締結について(女川町)
訴えの提起について
民事調停の成立及び損害賠償の決定について

決算関係

(認定)

平成21年度石巻市一般会計及び各種特別会計決算認定について
平成21年度石巻市病院事業会計決算認定について

条例関係

(原案可決)

石巻市立こども園条例
石巻市庁舎建設基金条例を廃止する条例
石巻市総合体育館条例
石巻市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
石巻市特別会計条例の一部を改正する条例

議会提出議案

(原案可決)

議員定数等調査検討特別委員会の設置について

委員会提出議案

(原案可決)

子宮頸がん予防ワクチンの接種に対する国の助成を求める意見書

提出された請願

第3回定例会において提出、審査された請願は次のとおりです。

「子宮頸がん予防ワクチンの接種に対する国の助成を求める意見書」の提出方請願

【請願者】

石巻市日和が丘三丁目7-23
石巻を考える女性の会
会長 秋月 幸子

【請願趣旨】

子宮頸がん予防ワクチンを無料で接種できるように国において助成を行うよう、国会及び政府に対し意見書を提出してほしい。

※この請願は、保健福祉委員会の審査および本会議採決で採択され、関係機関へ意見書を提出することに決まりました。

提出された陳情

■石巻市民会館建設について
議員全員へ参考回付

石巻市大橋一丁目市有地の旧新庁舎建設用地に、石巻市民会館を建設されるよう求める。

提出者 石巻市住吉地区

町内会長連絡協議会

意見書

第3回定例会において次の意見書が保健福祉委員会で審査および本会議採決で採択され、関係機関へ提出することに決まりました。

子宮頸がん予防ワクチンの接種に対する国の助成を求める意見書【要旨】

子宮頸がんは、日本では年間約1万5千人が発症し、子宮全摘出手術等の治療を受け、残念ながら、うち約3千5百人が死亡しているがんであり、女性特有のがんでは第2位の死亡原因となっている。特に近年においては、20代や30代の若年層で増加傾向にあり、これから結婚や出産を迎える年代の女性や幼い子供をもつ母親にとって深刻な問題となっている。

子宮頸がんの原因はHPV(ヒト・パピローマ・ウイルス)に感染することが主な原因と分かっており、このウイルスを予防できるワクチンは、既に百カ国以上で使用されている。このワクチンを早期に接種すれば、20代の子宮頸がんは約90%減らせる可能性もあり、国内の少子化を止める一助にもなり得る。そのためにはできるだけ早い時期に接種を開始する必要がある。

欧米の先進国では2006年よりワクチンが承認され、2007年頃より全額公費での接種が開始されている。

日本では、2009年12月に承認され使用可能となったが、必要とされる3回の接種で5万円前後の費用がかかるため、接種する女性が極めて少ないのが現状である。接種率を向上させるために、国内でも一部の市町村では独自の助成を開始している。一方、自治体によって助成のある地域と無い地域が生じることで、受けられる予防医療に地域格差が生まれ始めたことも事実である。

よって、国会及び政府に対し、次の事項を実現するよう強く要望する。

記

1 若年女性の子宮頸がん発生予防、将来的な出生率の向上及び予防医療の地域格差を是正するため、子宮頸がんワクチンを無料で接種できるように国において助成を行うこと。

追跡レポート

あの質問は どうなったの？



過去に定例会で一般質問されたことが、その後、市政にどのように反映されたのか追跡調査してみました。

中小企業融資制度の見直しを (平成21年9月定例会)

Q 中小企業融資、小企業小口融資あっせん制度について、より利用しやすい制度に見直しを。

A 見直しを検討していく。

その後

平成22年4月より制度を細分化貸付利率を改定

中小企業融資：

1年以内2.0%、1年以上2.3%

小企業小口融資：

1年以内2.0%、1年以上2.2%

多子世帯の保育料の軽減を (平成19年9月定例会)

Q 多子世帯の保育料の軽減を。

A 現在、兄弟が同時に入所している場合、第2子は2分の1、第3子は10分の1と定めている。第3子の無料化を検討していく。

その後

平成21年7月より
第3子以降の保育料が無料化



旧魚市場前の沈廃船の撤去を (平成21年6月定例会)

Q 交渉力が求められるが、旧魚市場前の沈廃船について、早期の撤去を。

A 地域住民と連携を図りながら、早期に撤去されるよう、県に対して引き続き要望していく。



平成22年度
一隻分の撤去費用が予算化された

閉園した「上釜市民農園」の代替地を (平成19年3月定例会)

Q 閉園した「上釜市民農園」の代替地を開設しては。

A 農地法との整合性あるいは利用者の利便性などを考慮しつつ、代替地を検討していく。



- 旭山体験農園を開設 (H20.5月)
- 民設により「蛇田わくわく農園」開設



《石巻市議会事務局》

〒986-8501
石巻市穀町14番1号
TEL (95) 1111 (代表)
FAX (96) 2274
メール
assesc@city.ishinomaki.lg.jp

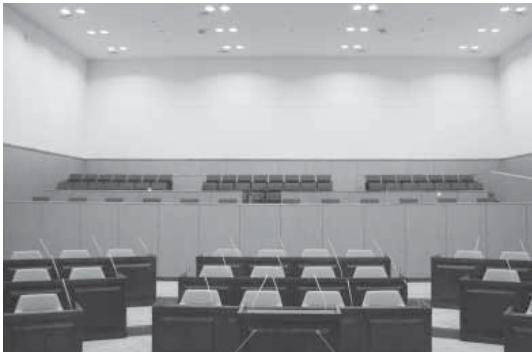
ご意見拝聴
「市民の聲」
議会運営について皆様の
ご意見をお聞かせください。

石巻市議会では、市民福祉の向上を目指し、開かれた議会運営に努めており、開かれた議会を推進し、市民の負託に応えるため「市民の聲」を実施しています。提案や意見は、議会棟入口と議場傍聴席に設置している提案箱への投函、郵送、電話、ファクシミリ、電子メール等により随時受け付けています。

議員定数等調査検討特別委員会が 設置されました

地方分権の進展に伴い、地方議会の機能強化と充実が求められている。

そこで、社会経済情勢と地域の実情に応じた適正な石巻市議会議員の定数等を検討することを目的に「議員定数等調査検討特別委員会」が設置されました。



▲議事堂議員席の様子

| | | | | | | | |
|------|------|------|------|-------|------|------|------|
| 委員 | 委員 | 委員 | 委員 | 委員 | 委員 | 副委員長 | 委員長 |
| 三浦一敏 | 高橋健治 | 伊藤啓二 | 高橋栄一 | 阿部欽一郎 | 高橋左文 | 長倉利一 | 阿部政昭 |

第3回定例会最終日の9月22日に議員定数等調査検討特別委員会が設置され、正副委員長を決定しました。

議会トピック

平成22年8月31日(火)に石巻市の友好都市である山形県河北町議会と①友好都市としての交流のあり方、②特産物を活用した交流の進め方についての意見交換が開催されました。
当日は、活発な意見交換が行われました。



▶石巻市議会と山形県河北町議会との懇談会の様子

監査委員

議会選出の監査委員を紹介いたします。

委員 高橋健治

議会を傍聴してみませんか？

次の定例会は12月です。詳細の日程については議会事務局へお問い合わせください。
本会議の開会時刻は原則午後1時ですが、議会運営上変更となる場合があります。
※団体で傍聴をご希望の場合は、事前に議会事務局へご連絡ください。

回数 3回
定員 276人
傍聴

傍聴トピック

大手町町内会婦人部の皆さんが9月21日(火)の第3回定例会を傍聴にいらつしやいました。



石巻市議会豆知識

Q 市がしている仕事について、こうしてほしいと思っっているお願いや意見を出すことを「**請願、陳情**」と言います。議員をとおさずに文書を市議会に直接出すことを「**陳情**」と言います。



A 市がしている仕事について、こうしてほしいと思っっているお願いや意見を出すことを「**請願、陳情**」と言います。議員をとおさずに文書を市議会に直接出すことを「**陳情**」と言います。

議会の動き

8月

- 17日 産業建設委員会
行政視察来局（新潟県新発田市議会）
- 23日 会派代表者会議
- 24日 行政視察来局（茨城県取手市議会）
- 27日 行政視察来局（兵庫県三田市議会）
- 30日 議会運営委員会
- 31日 出前講座（消費者グループ なの花）
山形県河北町議会との意見交換会
雇用と定住促進対策特別委員会

9月

- 2日 議場コンサート
市議会第3回定例会開会（～22日まで）
本会議（提案理由説明）
全員協議会
- 3日 本会議（決算、条例案、予算案等審議）
会派代表者会議
- 6日 総務企画委員会
- 7日 総務企画委員会、環境教育委員会
- 8日 環境教育委員会、保健福祉委員会
- 9日 保健福祉委員会、産業建設委員会
- 10日 産業建設委員会
- 13日 議会運営委員会、広報広聴委員会
会派代表者会議
- 15日 議会運営委員会
本会議（一般質問）
- 16日 本会議（一般質問）
- 17日 本会議（一般質問）
- 21日 本会議（一般質問）
会派代表者会議
- 22日 本会議（一般質問、委員長報告、追加議案審議）
市議会第3回定例会閉会

- 28日 議会運営委員会、広報広聴委員会
- 29日 行政視察来局（佐賀県佐賀市議会）

10月

- 1日 全員協議会、産業建設委員会
- 5日 行政視察来局（多賀城市議会、石川県小松市議会）
- 7日 行政視察来局（岩手県八幡平市議会）
- 12日 議会運営委員会行政視察（～15日）
- 13日 行政視察来局（東京都調布市議会）
- 14日 行政視察来局（新潟県長岡市議会、栃木県栃木市議会）
- 15日 行政視察来局（群馬県桐生市議会）
- 18日 産業建設委員会行政視察（～21日）
- 19日 総務企画委員会行政視察（～22日）
環境教育委員会行政視察（～22日）
保健福祉委員会行政視察（～22日）
- 22日 産業建設委員会
- 25日 議会運営委員会
- 26日 行政視察来局（愛知県清須市議会、大分県宇佐市議会）
- 27日 行政視察来局（神奈川県茅ヶ崎市議会）

11月

- 2日 市議会第4回臨時会
総務企画委員会、環境教育委員会
保健福祉委員会、産業経済委員会
議会運営委員会、広報広聴委員会
- 4日 議員定数等調査検討特別委員会
行政視察来局（北海道苫小牧市議会）
- 5日 行政視察来局（兵庫県宝塚市議会）
- 9日 行政視察来局（名取市議会、兵庫県伊丹市議会）
- 10日 行政視察来局（三重県伊賀市議会、東京都清瀬市議会）
- 11日 中央要望（～12日・東京都）

市議会 ホームページ

ぜひ
ご覧ください!!

<http://www.city.ishinomaki.lg.jp/gikai/gikai.jsp>
へアクセスしてください。

市議会ではホームページを開設しています。
議会に関する様々な情報を掲載しています。
議会の日程や「いしのまき市議会だより」で
取り上げた内容等についても詳しくご覧いた
だくことができます。

定例会や各委員会の会議録も検索できます。

NEW

本会議における一般質問等を録画中継で
ご覧いただけるようになりました。



DATA 市総人口: 163,216人【男: 78,726人 / 女: 84,490人 / 世帯数: 60,818世帯（平成22年10月1日現在）】

発行 / 石巻市議会 編集 / 石巻市議会事務局 〒986-8501 宮城県石巻市穀町14番1号 ☎0225-95-1111 印刷 / 七星社